

しらさぎ24訪問介護看護ステーション
第2期 第6回 介護・医療連携推進会議 報告書

		<p>意しなければならない部分で、確実かつ効果的な方法の策定が急がれる。</p> <p>[各委員意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期巡回事業における、利用者サイドの要望・イメージと実際に提供できるサービスとの間にギャップがあり、他の様々な要因も相まって困難な状況になっているケースがある。 → 事業内容について再度きちんと説明をし、その利用者にマッチした別のサービスに切り替える提案をすることも必要になるのではないかと。
(2)苦情、意見等	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情 2件…訪問時刻の変更(遅れ)の依頼をしたが、遅れ幅が予想より大きくなった。また、理由が緊急性の高いものではなかった。 → 訪問時に呼鈴を鳴らさない、という情報が伝達・共有されていなかった。情報伝達・共有を徹底する。 ※もう1件については「事故等」欄の「転倒」参照。
(3)事故等	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服薬 3件…いずれも主たる要因は介助者の確認不足。 → 準備されたものを機械的に介助するのではなく、介助開始・終了時に確認を行うという意識を持つよう指導、周知を行った。 ・ 不参 2件…チームメイト事業所との間での確認不足に起因が1件あり。 → 業務依頼の際は、細部まで内容をしっかりと伝えて確認する。利用者、しらさぎ24、チームメイトの三者の信頼関係が崩れることの無いように努める。 ・ 転倒 1件…介助中の事故ではなく、訪問時の呼鈴に対応しようとした事故。直接の原因は床が滑ることと本人のADL等だが、誘発する遠因となった。
(4)その他		
次回開催予定		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年3月中旬